

令和10年度（令和9年度実施）入学者選抜における女子枠の導入について（予告）

令和7年9月26日
三重大学

工学部の令和10年度（令和9年度実施）入学者選抜について、以下のとおりお知らせします。ただし、今後変更となる場合がありますので、本学から発表される情報に注意してください。

1. 学校推薦型選抜における女子枠の導入について

工学部総合工学科情報工学コースにおいて、女子を対象とする学校推薦型選抜として「推薦④（女子特別推薦）」を実施します。

・選抜方法等の概要

募集人員：5名

選抜区分：学校推薦型選抜（共通テストを課さない）

選抜方法：書類審査，面接

出願要件：① 自身の将来のビジョンを明確に持って科学技術（特に情報工学分野）に強い関心と学修意欲を有する者

② SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校を卒業若しくは卒業見込みの者、あるいは先進的な科学技術等の課外活動に積極的に取り組んでいる者

③ 高等学校若しくは中等教育学校等における数学，理科（物理基礎，物理又は化学基礎，化学），情報，及び外国語（英語）のそれぞれの評定平均値が3.5以上の者

④ 1高等学校若しくは中等教育学校から推薦できる人数の上限は2名

・実施の背景と目的

三重県を含む東海エリアは自動車産業，半導体産業，石油化学工業をはじめとする工業地帯であり，それらの主要産業において自動運転技術やプラントDXといった情報工学を中核とする技術の需要が急速に高まっています。IT人材の供給は2030年までに最大80万人程度不足すると推計されており，この人材不足を補うため，女性のIT分野への参入が期待されています。一方，直近の本学工学部の女子入学者比率は20%程度に留まっており，社会が求める女性人材の輩出等が，十分に確保されているとは言えない状況です。

これらを踏まえ，大学において多様な学生を受け入れるとともに，社会からの理工系女性人材育成の要請に応えるため，情報工学コースで「推薦④（女子特別推薦）」を実施するものです。

・実施により期待される効果

大規模な工業地帯を擁する三重県をはじめとする東海エリアでは、今後あらゆる工業分野においてDXに貢献できる人材が強く求められています。さまざまな産業において当該コースで身に付けた専門能力によって課題解決を行うのみならず、女性として自身のキャリアを構築・展開し、情報工学分野における女性活躍のロールモデルと成り得る人材となることが期待されます。

また、今回の「推薦④（女子特別推薦）」の実施は、単に女子学生の増加を図るだけに留まるものではなく、これを契機として、これまで以上に男女がそれぞれの個性を理解し、尊重することで学び合う環境をより充実させることを目指しています。女性のキャリアパスに触れる機会等を増加することで、多様なものの見方・考え方を知り、新たな技術・価値の創出に貢献することのできる多様な人材の育成・輩出が期待されます。